

長野市民病院で乳がんと診断され外来診療を受けられている患者さんへ  
看護研究にご協力をお願い致します。

「乳腺外科外来患者の療養支援のために～外来への電話相談内容からの考察～」を実施しています。

長野市民病院倫理委員会の審査による長野市民病院長の承認を得て実施しています。この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、調査内容の情報を公開し可能な限り拒否の機会を保障することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2004 市病倫第 0068 号
研究課題名	乳腺外科外来患者の療養支援のために～外来への電話相談内容からの考察～
所属	看護部 第二外来
研究実施期間	医倫理承認後～2025 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	<p>当院の乳腺外科外来では、年間のべ 8000 人以上のがんと診断された患者さんの診療に携わっています。近年、入院期間の短縮化により外来で治療を継続しながら、在宅療養されている患者さんも多くいます。</p> <p>外来看護には、在宅療養支援の充実が求められており病院で「待つ」のではなく、看護職自らが地域や生活の場へ「出ていく」対応が期待されています。</p> <p>そこで、がんと診断され通院している患者さんに対して、日常生活において必要なタイミングで必要な療養支援をするために、電話相談内容を分析する事で、必要な支援を明らかにしたいと考えました。</p>
対照となる方	2024 年 4 月 1 日～2024 年 10 月 31 日に乳腺外科外来へ電話相談された患者さんまたはご家族の方
利用する診療記録	電子カルテ内で対象期間内で電話相談記載のある看護記録
調査方法	<p>1. 対象：乳腺外科外来を受診しているがんと診断されている患者さん（手術前・手術後、薬物療法、放射線治療、その他：経過観察のみ）</p> <p>2. 調査内容</p> <p>1) 患者背景：①年齢②就労の有無③家族背景</p> <p>2) 治療時期：①手術前②手術後③薬物療法（時期別）⑦放射線治療⑧その他（経過観察のみ）</p>

	<p>3) 相談内容</p> <p>相談内容が該当する患者をリストアップし電子カルテから調査項目のデータを抽出し、統計をとり、傾向を出します。</p>
研究者	<p>研究責任者：外来師長 関野奈穂</p> <p>研究者：近藤雅子、湯本えりか、小林佳奈子、斉藤万希子（看護師）</p>
問い合わせ先	<p>長野市民病院 第二外来</p> <p>電話：026-295-1199（代表）</p> <p>氏名（所属・職名）：近藤雅子、湯本えりか、小林佳奈子、斉藤万希子</p> <p>（看護部・第二外来 看護師）</p>

既存の診療記録を調査・集計するので、新たな診療や検査、検体の採取の必要はありません。利用する情報からは患者さんを直接特定できる個人情報を削除するので、院外へ個人情報がでることはありません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またはご不明点につきましては、上記問い合わせ先まで 2025 年 2 月 28 日までにご連絡くださいますようお願いいたします。

研究に不参加を申し出られた場合も、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、既に結果が公表されていた場合や資料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を破棄できない場合もあり、引き続き使用させていただくことがあります。

研究成果は、今後医学、看護の発展に役立つように学会等で発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用致しません。